

学びと育ちの わくわく通信



令和5年
3月

発行
旭川市教育委員会社会教育課
☎0166-25-7190

保護者の皆さんに役立つ情報をお伝えし、子育てや家庭での教育を支援します。

「学びと育ちのわくわく通信」を発行します

旭川市教育委員会社会教育課では、子育てや家庭での教育を支援するため、保護者の皆さんに役立つ情報をお伝えする「学びと育ちのわくわく通信」を発行することとしました。

今回は、地域の教育力向上推進委員会 家庭教育「学びカフェ」推進事業作業部会（事務局：北海道教育庁生涯学習課）が作成した「家庭教育ナビゲーターハンドブック」から、お子さんに関する悩みに役立つポイントを紹介します。

こんなお悩みありませんか？



いつもダラダラ過ごして
いないで、もっと積極的
に取り組んで欲しいなあ

学校から帰ってきたら
すぐに遊びに行ってしまうと
宿題が後回しに…



保護者が
3つのポイントを
理解しましょう！



ポイント1

子どもは、ほめられたい

子どもの学習や活動に対する意欲は、「できた！」という達成感と、「よくできたね！」というほめ言葉によって高まります。

子どもの気持ちに寄り添って、ほめたり励ましたりすることが、子どものやる気を育てることにつながります。難しいことも、できているところをほめて、間違いもほめながら直すのが最善の手立てです。

ポイント2

子どもは、認められたい

お手伝いの役割を決めるなど、子どもが活躍する場面をつくってみると良いでしょう。「助かったよ」など、子どもの頑張りを認める声かけがあると、嬉しくて前向きな気持ちになるものです。

一緒に出かけたり、散歩をしたりするなど、コミュニケーションを図ることが子どものやる気を引き出すポイントです。

ポイント3

子どもは子どもなりに忙しい

学校や習い事、ゲームにテレビ、友達との付き合い……。子どもは子どもなりに忙しい毎日を送っています。でも、まだ時間を上手に使えず、「やりたいこと」が優先され、「やるべきこと」が後回しになってしまいます。

時間の使い方について、子どもと一緒に話し合い、家庭の決まりをつくると良いでしょう。